



2021年5月14日

各 位

上場会社名 ラサ工業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 坂尾 耕作
(コード番号 4022)
問合せ先責任者 取締役経理部長 望月 哲夫
(TEL 03-3258-1835)

2021年3月期通期業績予想値と実績値との差異 及び剰余金の配当（増配）に関するお知らせ

2020年11月6日に公表しました2021年3月期(2020年4月1日～2021年3月31日)通期連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2021年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことにつき、2021年6月29日開催予定の第153期定時株主総会に下記のとおり付議することを決議いたしましたのでお知らせいたします。

1. 2021年3月期 通期連結業績予想値と実績値との差異について

(1)2021年3月期 通期連結業績予想の差異(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値 (A)	29,400	2,100	2,100	1,500	189.26
今回実績値 (B)	28,978	2,659	2,649	2,004	252.89
増減額 (B-A)	△422	559	549	504	
増減率 (%)	△1.4	26.6	26.1	33.6	
(ご参考)前期連結実績 (2020年3月期)	29,759	1,871	1,726	1,377	173.82

(2)業績予想と実績値の差異の理由

当連結会計年度における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴う影響を受けて、厳しい状況が続きました。夏以降は経済の持ち直しの動きがみられましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大により本格的な回復には至っておらず、予断を許さない状況が続きました。

このような状況の中、化成品事業においては、燐系製品で半導体向け高純度燐酸の売上が順調に推移したことや、凝集剤関連製品でエッチング用途向け関連製品が秋口から復調したことなどから、予想に対し増益となりました。また、電子材料事業においては、レアメタル商品市況が回復基調となったことから、大幅な在庫評価の益要因があったため、予想に対して増益となりました。

このため、前回業績予想に対しまして上記のような差異が発生いたしました。

2. 剰余金の配当(増配)について

(1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年5月15日発表)	前期実績 (2020年3月期)
基準日	2021年3月31日	2021年3月31日	2020年3月31日
1株当たり配当金	45円	40円	40円
配当金の総額	356百万円	—	317百万円
効力の発生日	2021年6月30日	—	2020年6月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2)理由

当社の利益配分につきましては、株主への利益還元を重視しつつも、業績の推移を勘案した財務体質改善及び将来の設備更新・拡充等、事業展開のための原資である内部留保との調和を総合的に検討し決定することが、株主の安定的・継続的な利益に繋がるものと考え、これを基本としております。

この方針に基づき、本日公表の2021年3月期連結業績を踏まえ、利益配分方針を総合的に勘案した結果、直近の配当予想の1株あたり40円から5円増配の1株あたり45円とすることといたしました。

以上